

# 指定発言 ヘルスコミュニケーションと 医学サイエンスコミュニケーションの違い

## Differences between Health Communication and Medical Science Communication

木内 貴弘<sup>1)</sup>  
Takahiro Kiuchi<sup>1)</sup>

1)東京大学大学院医学系研究科公共健康医学専攻医療コミュニケーション学

1)Department of Health Communication, School of Public health, Graduate School of Medicine, The University of Tokyo

ヘルスコミュニケーション、医学サイエンスコミュニケーション、メディカルサイエンスコミュニケーションは、広義のヘルスコミュニケーション(ヘルス関連領域でなされるコミュニケーション)と見做すことができるが、各々の概念には明確な違いがある(表)<sup>1)</sup>。まずメディカルコミュニケーションは、医学者・医療者同士の専門知識の交換や協働のためのコミュニケーションであるから、患者・市民が関与するヘルスコミュニケーション、医学サイエンスコミュニケーションとは明確に異なっている。医学サイエンスコミュニケーションは、医療者と市民間のコミュニケーションであるが、ヘルスコミュニケーションにも医療者と市民間のコミュニケーションは包含されている。ヘルスコミュニケーションと医学サイエンスコミュニケーションの違いは、前者が患者・市民の疾病の予防や治療を目的としてなされるのに対して、後者は市民へ医学のサイエンスとしての面白さ、意義、役割を伝えることを主な目的とする点である。しかしながら、この両者は、時に重なり合ったり、お互いに行き来することもありえる。例えば、COVID-19の予防のためのヘルスコミュニケーションをしているうちに、mRNAワクチン発明の背景にある興味深い逸話やmRNAワクチンという技術の社会的な意義についての証言(医学サイエンスコミュニケーション)が入ることもありえる。また逆にmRNAワクチンに関する医学サイエンスコミュニケーションのうちに、ワクチン接種勧奨のメッセージ(ヘルスコミュニケーション)が入ることもありえるであろう。筆者は、ヘルスコミュニケーションと医学サイエンスコミュニケーションの目的の違いが明確に意識されていれば、この種の重なり合いや行き来があっても差し支えないと考えている。しかしながら、話者がヘルスコミュニケーションの話をしているつもりで、実際は医学サイエンスコミュニケーションの話をしていたり、また逆に話者が医学サイエンスコミュニケーションの話をしているつもりで、ヘルスコミュニケーションの話をしてしまう事態は望ましくないと考えている。

表 ヘルスコミュニケーション、医学サイエンスコミュニケーション、メディカルコミュニケーション

(広義の)ヘルスコミュニケーション		
ヘルスコミュニケーション 医療者 ⇄ 患者・市民 患者・市民 ⇄ 患者・市民	医学サイエンスコミュニケーション 医療者 ⇄ 市民	メディカルコミュニケーション 医療者 ⇄ 医療者

### 研究資金

無

### 利益相反自己申告

無

### 引用文献

1. 木内貴弘、中山健夫、宮原哲、石川ひろの、杉本なおみ、高山智子、藤崎和彦、ヘルスコミュニケーション学関連学会機構とその傘下学会の設立、日本ヘルスコミュニケーション学会誌、2023; 14(1): 1-7.

\*責任著者 Corresponding author : 木内貴弘 (e-mail: tak-kiuchi@gmail.com)